



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コア
 コード番号 2359 URL <https://www.core.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松浪 正信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員最高財務責任者 (氏名) 市川 卓 TEL 03-3795-5111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,785	△1.0	2,032	12.8	2,114	14.1	1,423	21.4
2020年3月期	20,997	2.6	1,800	11.4	1,852	10.5	1,172	△6.0

(注) 包括利益 2021年3月期 1,508百万円 (30.7%) 2020年3月期 1,154百万円 (△10.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	100.37	100.28	12.2	11.5	9.8
2020年3月期	82.84	82.76	11.0	10.4	8.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 6百万円 2020年3月期 9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	18,433	12,318	66.6	865.03
2020年3月期	18,245	11,157	61.0	785.79

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,279百万円 2020年3月期 11,130百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,851	48	△922	3,636
2020年3月期	1,325	△348	△931	2,658

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	27.00	27.00	382	32.6	3.6
2021年3月期	—	—	—	30.00	30.00	425	29.9	3.6
2022年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00		32.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	1.2	750	5.8	780	2.8	530	1.5	37.37
通期	22,000	5.8	2,200	8.3	2,250	6.4	1,550	8.9	109.30

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	14,834,580株	2020年3月期	14,834,580株
2021年3月期	639,186株	2020年3月期	669,260株
2021年3月期	14,180,852株	2020年3月期	14,157,225株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,019	△2.4	1,533	6.5	1,744	9.2	1,302	36.0
2020年3月期	16,413	1.0	1,440	0.5	1,597	△12.2	957	△35.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	91.83	91.75
2020年3月期	67.63	67.56

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	15,499	10,549	68.0	742.04
2020年3月期	15,029	9,577	63.6	674.95

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,533百万円 2020年3月期 9,560百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表及び主な注記	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	25
(継続企業の前提に関する注記)	25

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<当連結会計年度の業績概要>

	連結業績		増減 (B) - (A)	増減率 (B) / (A) - 1
	2020年3月期(A)	2021年3月期(B)		
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	20,997	20,785	△212	△1.0
営業利益	1,800	2,032	231	12.8
経常利益	1,852	2,114	261	14.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,172	1,423	250	21.4

当連結会計年度における我が国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経済環境が続き、その対応として様々な政策が実施されましたが、変異株による感染の再拡大が見られるなど、事態収束の兆しは見え、依然として先行き不透明な状況となっています。一方、世界経済においても、同感染症の影響は大きく、一部地域でワクチン接種が開始されたものの、感染再拡大の流れを止めるには至らず、今後の景気への影響が懸念されます。

情報サービス産業では、社会的に深刻化する人手不足を背景に、企業による合理化・省力化に向けた情報化投資が続いておりましたが、企業収益悪化の懸念から投資は弱い動きとなっています。

このような状況の下、当社グループにおいても、営業面等で新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、拠点分散型カンパニー制をスケールメリットとした地域密着型の事業展開及びマーケットニーズに沿った高品質のソリューションを全国で同質に提供する業務体制の2つの特長を最大限生かし、ソリューションメーカーとして新たな価値を創造するビジネスを推進してまいりました。

セグメント別の動向としましては、ソリューションビジネスでは、「コアビジネス(※1)」として掲げるメディア、公共、医療、GNSS、IoT(AI)の5つにエネルギー、DXインサイト(※2)の2つの事業分野を加えて規模を拡大し、各分野間の連携強化により顧客にとっての付加価値の最大化と事業の更なる拡大を図ってまいりました。

また、SIビジネスでは、選択と集中を行い重点的に推進する6分野(車載、デジタルテクノロジー、金融、社会基盤、農業、クラウド)において、地域拠点毎に定めた戦略をもとに顧客満足度の向上に努め、業務ノウハウを蓄積して特化技術を洗練し、各々の特長を伸ばしてまいりました。

そして、従来より基本戦略の一つとして推し進めているSIビジネスからソリューションビジネスへのビジネスモデルの転換も徐々に進みつつあります。

この結果、当連結会計年度の売上高は20,785百万円(前連結会計年度比1.0%減)、営業利益は2,032百万円(同12.8%増)、経常利益は2,114百万円(同14.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,423百万円(同21.4%増)となりました。

(※1) コアビジネス

同じ事業、マーケット、サービスを当社グループ各拠点が「横ぐし」で連携することでスケールメリットを活かすとともに、スピードある変化を取り込むことでグループ全体の成長を目指す中核事業。

(※2) DXインサイト: 「認識技術」によるデジタルトランスフォーメーション

AIによる手書文字認識技術や物体認識技術等の革新的技術を用いたソリューション。

当社グループの事業セグメントの概況は次のとおりです。

セグメント別		2020年3月期(A)		2021年3月期(B)		増減率 (B) / (A) - 1
		金額	構成比	金額	構成比	
売上高		百万円	%	百万円	%	%
	ソリューションビジネス	9,511	45.3	10,521	50.6	10.6
	S I ビジネス	11,418	54.4	10,195	49.1	△10.7
	その他	67	0.3	67	0.3	1.2
	計	20,997	100.0	20,785	100.0	△1.0
営業利益	ソリューションビジネス	1,544	85.8	1,791	88.2	16.0
	S I ビジネス	234	13.0	214	10.5	△8.7
	その他	21	1.2	26	1.3	21.8
	計	1,800	100.0	2,032	100.0	12.8

①ソリューションビジネス

コアビジネスが総じて伸長し順調に推移しました。特にメディアが引き続き堅調だったことに加え、今期より新たにコアビジネスに加わったエネルギーが売上高に寄与しました。また、自社ソリューションを活かした提案型ビジネスも堅調に推移しており、その結果、売上高は10,521百万円（前連結会計年度比10.6%増）、営業利益は1,791百万円（同16.0%増）となりました。

②S I ビジネス

金融分野におけるシステム開発及びクラウドシステム等のWeb関連開発が堅調に推移しました。一方、組込み系S I の車載、携帯端末及び情報家電分野においては、顧客側の開発案件計画の見直し等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による投資抑制の影響もあったことから、売上高は10,195百万円（前連結会計年度比10.7%減）、営業利益は214百万円（同8.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

<資産>

流動資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円増加し、10,103百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が400百万円、仕掛品が555百万円減少しましたが、現金及び預金が1,162百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ185百万円減少し、8,329百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が81百万円、投資有価証券が92百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ188百万円増加し、18,433百万円となりました。

<負債>

流動負債は、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、5,491百万円となりました。これは主に、未払法人税等が161百万円、受注損失引当金が78百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ741百万円減少し、622百万円となりました。これは主に、長期借入金601百万円、リース債務が136百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ973百万円減少し、6,114百万円となりました。

<純資産>

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,161百万円増加し、12,318百万円となりました。これは配当金の支払い382百万円がありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益が1,423百万円となったことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ977百万円増加し、3,636百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,851百万円の増加（前連結会計年度比525百万円増）となりました。これは主に、法人税等の支払額が799百万円ありましたが、税金等調整前当期純利益が2,071百万円、たな卸資産の減少497百万円があったことなどによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、48百万円の増加（前連結会計年度比397百万円増）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出350百万円がありましたが、有価証券の償還による収入400百万円があったことなどによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、922百万円の減少（前連結会計年度比9百万円増）となりました。これは主に、短期借入金の減少106百万円、長期借入金の返済による支出が376百万円、配当金の支払382百万円があったことなどによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	53.1	56.2	58.8	61.0	66.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	116.5	120.7	94.9	92.1	116.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	4.6	2.3	2.9	2.0	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	34.7	59.4	58.4	77.8	121.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及や各国の経済対策等、明るい兆しが見受けられるものの、感染力が強い変異株の感染拡大など新たな問題により先行きは不透明であり、内外経済が下振れするリスクがあることから予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

情報サービス産業においては、業務効率化ニーズの高まりやデジタルトランスフォーメーションに向けた戦略的投資など、潜在的な企業のIT投資意欲はあるものの、先行きが見通せないことから、投資に対する慎重姿勢が見込まれます。

このような背景の下、当社グループは、特長を最大限生かし、新たな価値を創造するビジネスを推進することで顧客課題を解決し、理想の実現を共創する「ソリューションメーカー」として事業の拡大を図ってまいります。

拠点分散型カンパニー制をスケールメリットとした地域密着型の特長により、これまで培ってきた業務ノウハウと先端技術を用いたソリューションを全国で同質に提供し、マーケットニーズに沿って品質の向上を図ることで競争力を高める好循環プロセスを実践してまいります。

また、現場力の強い事業基盤を確立するため、顧客の課題に対し適切な解決策を提案・実行できる上流工程を担う人材の育成や、製品・サービスの品質・競争力強化に向けた研究開発投資等の戦略投資を行うとともに、SDGsへの取り組みなどを通じて社会貢献に寄与してまいります。

事業セグメント毎の成長戦略として、ソリューションビジネスでは、コアビジネスとして掲げるメディア、公共、医療、GNSS、IoT(AI)、エネルギー、DXインサイトの7つの事業分野において、各分野間の連携強化と規模拡大を図り、顧客にとって価値のあるソリューションを提供することで、事業の更なる発展を目指してまいります。

SIビジネスでは、選択と集中を行い重点的に推進する6分野(車載、デジタルテクノロジー、金融、社会基盤、農業、クラウド)において、地域拠点毎に定めた戦略をもとに顧客満足度の向上に努め、業務ノウハウを蓄積して特化技術を洗練し、各々の特長を伸ばしてまいります。

環境が大きく変化する中、その流れに適應する事業展開を行い、高い競争力をもつソリューションの全国展開によるマーケット獲得と地域に根差した丁寧な対応による顧客からの信頼獲得の両輪により事業規模の拡大を図ってまいります。

以上により2022年3月期につきましては、売上高は22,000百万円(前連結会計年度比5.8%増)を見込み、営業利益は2,200百万円(同8.3%増)、経常利益は2,250百万円(同6.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,550百万円(同8.9%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474,201	3,636,219
受取手形及び売掛金	5,180,845	4,780,841
完成工事未収入金	476,338	865,908
有価証券	250,000	200,000
商品及び製品	173,835	152,794
仕掛品	692,525	136,595
原材料及び貯蔵品	38,928	115,232
その他	443,050	216,195
流動資産合計	9,729,725	10,103,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,408,758	4,415,031
減価償却累計額	△2,812,368	△2,900,000
建物及び構築物（純額）	1,596,389	1,515,031
機械装置及び運搬具	1,058,158	1,121,297
減価償却累計額	△738,509	△832,102
機械装置及び運搬具（純額）	319,649	289,194
土地	3,705,566	3,705,566
建設仮勘定	1,958	3,106
その他	477,344	496,757
減価償却累計額	△389,971	△418,483
その他（純額）	87,372	78,273
有形固定資産合計	5,710,936	5,591,171
無形固定資産		
その他	199,938	175,473
無形固定資産合計	199,938	175,473
投資その他の資産		
投資有価証券	1,264,753	1,172,342
繰延税金資産	533,979	518,258
その他	805,837	872,249
投資その他の資産合計	2,604,569	2,562,850
固定資産合計	8,515,443	8,329,495
資産合計	18,245,169	18,433,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,360,124	1,209,878
短期借入金	1,795,600	1,913,832
未払法人税等	509,877	348,720
賞与引当金	857,130	803,365
受注損失引当金	78,521	—
製品保証引当金	3,046	4,136
その他	1,119,223	1,211,536
流動負債合計	5,723,523	5,491,469
固定負債		
長期借入金	797,340	195,842
リース債務	173,016	36,504
繰延税金負債	79,152	83,585
役員退職慰労引当金	181,689	181,500
退職給付に係る負債	25,101	22,793
資産除去債務	31,538	31,869
その他	76,218	70,892
固定負債合計	1,364,056	622,987
負債合計	7,087,580	6,114,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	183,645	190,891
利益剰余金	10,995,957	12,036,852
自己株式	△708,745	△677,381
株主資本合計	10,911,057	11,990,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,528	285,290
為替換算調整勘定	1,358	3,540
その他の包括利益累計額合計	219,886	288,831
新株予約権	17,134	16,475
非支配株主持分	9,511	22,956
純資産合計	11,157,589	12,318,825
負債純資産合計	18,245,169	18,433,282

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	20,997,367	20,785,262
売上原価	15,781,969	15,524,609
売上総利益	5,215,397	5,260,652
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	63,143	39,679
人件費	1,942,520	1,917,743
賞与引当金繰入額	75,442	67,144
退職給付費用	30,480	29,680
福利厚生費	49,908	53,000
旅費及び交通費	91,526	37,982
減価償却費	81,872	73,762
研究開発費	232,217	262,887
その他	847,560	746,688
販売費及び一般管理費合計	3,414,673	3,228,568
営業利益	1,800,724	2,032,084
営業外収益		
受取利息	18,633	29,936
受取配当金	36,996	30,917
持分法による投資利益	9,171	6,062
受取賃貸料	12,783	12,946
補助金収入	661	15,393
保険解約返戻金	3,462	2,184
受取保険金	—	8,006
その他	12,143	13,843
営業外収益合計	93,852	119,290
営業外費用		
支払利息	17,038	15,241
賃貸収入原価	5,752	4,650
投資事業組合運用損	10,032	9,106
その他	9,064	8,233
営業外費用合計	41,888	37,231
経常利益	1,852,689	2,114,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
受取保険金	729	—
特別利益合計	733	—
特別損失		
減損損失	77,693	—
投資有価証券評価損	26,206	7,169
企業年金基金脱退損失	—	33,826
その他	11,193	1,879
特別損失合計	115,094	42,875
税金等調整前当期純利益	1,738,329	2,071,268
法人税、住民税及び事業税	641,250	643,246
法人税等調整額	△84,726	△11,698
法人税等合計	556,524	631,548
当期純利益	1,181,804	1,439,719
非支配株主に帰属する当期純利益	9,068	16,361
親会社株主に帰属する当期純利益	1,172,735	1,423,358

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,181,804	1,439,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,135	68,999
為替換算調整勘定	△381	88
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,783	△113
その他の包括利益合計	△27,300	68,974
包括利益	1,154,503	1,508,694
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,145,560	1,492,303
非支配株主に係る包括利益	8,943	16,390

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	440,200	152,382	10,105,719	△753,379	9,944,923
当期変動額					
剰余金の配当			△282,498		△282,498
親会社株主に帰属する当期純利益			1,172,735		1,172,735
自己株式の取得				△15,454	△15,454
自己株式の処分		31,263		60,089	91,352
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	31,263	890,237	44,634	966,134
当期末残高	440,200	183,645	10,995,957	△708,745	10,911,057

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	240,335	6,725	247,061	17,134	929	10,210,047
当期変動額						
剰余金の配当						△282,498
親会社株主に帰属する当期純利益						1,172,735
自己株式の取得						△15,454
自己株式の処分						91,352
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21,807	△5,367	△27,175		8,581	△18,593
当期変動額合計	△21,807	△5,367	△27,175		8,581	947,541
当期末残高	218,528	1,358	219,886	17,134	9,511	11,157,589

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	440,200	183,645	10,995,957	△708,745	10,911,057
当期変動額					
剰余金の配当			△382,463		△382,463
親会社株主に帰属する当期純利益			1,423,358		1,423,358
自己株式の取得				△23,986	△23,986
自己株式の処分		7,245		55,350	62,596
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7,245	1,040,894	31,364	1,079,504
当期末残高	440,200	190,891	12,036,852	△677,381	11,990,562

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	218,528	1,358	219,886	17,134	9,511	11,157,589
当期変動額						
剰余金の配当						△382,463
親会社株主に帰属する当期純利益						1,423,358
自己株式の取得						△23,986
自己株式の処分						62,596
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	66,762	2,182	68,945	△659	13,445	81,731
当期変動額合計	66,762	2,182	68,945	△659	13,445	1,161,235
当期末残高	285,290	3,540	288,831	16,475	22,956	12,318,825

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,738,329	2,071,268
減価償却費	331,761	308,682
減損損失	77,693	—
のれん償却額	43,878	—
株式報酬費用	63,499	73,027
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127,089	△53,787
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	22,581	△78,521
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	17	1,090
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	550	△2,497
持分法による投資損益 (△は益)	△9,171	△6,062
固定資産除却損	1,104	—
企業年金脱退損失	—	33,826
投資有価証券評価損益 (△は益)	26,206	7,169
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	10,032	9,106
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	1,879
受取利息及び受取配当金	△55,629	△60,853
支払利息	17,038	15,241
受取賃貸料	△12,783	△12,946
賃貸費用	5,752	4,650
保険解約返戻金	△3,462	△2,184
受取保険金	△729	△8,006
売上債権の増減額 (△は増加)	△633,499	10,554
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△274,115	497,612
営業債務の増減額 (△は減少)	△96,875	△159,379
前受金の増減額 (△は減少)	100,311	△70,246
未払金の増減額 (△は減少)	△58,004	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	138,106	38,794
その他	4,741	△359
小計	1,564,420	2,618,056
利息及び配当金の受取額	52,865	63,285
保険金の受取額	729	8,006
保険解約返戻金の受取額	3,462	2,184
利息の支払額	△17,038	△15,241
企業年金基金脱退による支払額	—	△25,760
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△278,713	△799,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,325,726	1,851,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20,000	—
有価証券の取得による支出	△350,000	△350,000
有価証券の償還による収入	200,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△166,493	△93,543
無形固定資産の取得による支出	△65,322	△76,899
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△50,000
投資有価証券の売却による収入	23	—
投資有価証券の償還による収入	100,000	100,000
関係会社株式の売却による収入	—	128,448
出資金の払込による支出	△50	—
投資不動産の賃貸による収入	12,752	12,946
投資不動産の賃貸による支出	△3,362	△2,934
敷金及び保証金の差入による支出	—	△27,415
投資事業組合からの分配による収入	1,802	—
その他	2,042	7,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,607	48,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95,762	△106,400
長期借入金の返済による支出	△504,157	△376,866
リース債務の返済による支出	△33,716	△32,403
自己株式の取得による支出	△15,315	△24,324
配当金の支払額	△282,498	△382,463
非支配株主への配当金の支払額	△361	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△931,810	△922,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△337	364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	44,970	977,333
現金及び現金同等物の期首残高	2,613,915	2,658,886
現金及び現金同等物の期末残高	2,658,886	3,636,219

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業組織及びサービスの内容等の類似性により事業セグメントを識別しており、「ソリューションビジネス」及び「S I ビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

「ソリューションビジネス」は、自社製品及びIT関連の各種商品を基盤に、製品販売、お客様の経営課題解決に合わせた提案型サービスを行っております。「S I ビジネス」は、お客様の業務内容を分析し、業務の効率化や情報通信技術（ICT）を駆使した製品開発など、多種多様化するニーズに合わせ、お客様のご要望に応じた企画から設計・開発・運用・保守までの一貫サービスを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,511,373	11,418,993	20,930,366	67,000	—	20,997,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126,201	1,288	127,489	16,144	△143,634	—
計	9,637,574	11,420,281	21,057,856	83,145	△143,634	20,997,367
セグメント利益	1,544,894	234,374	1,779,269	21,455	—	1,800,724
セグメント資産	7,006,904	4,811,613	11,818,518	640,178	5,786,472	18,245,169
その他の項目						
減価償却費	197,074	40,430	237,504	26,420	67,836	331,761
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	113,462	44,137	157,600	1,574	56,240	215,415

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 「調整額」は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額5,786,472千円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

(2) 減価償却費の調整額67,836千円は、管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加の調整額56,240千円は、主に本社設備の入れ替えによる設備投資であります。

4 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	10,521,594	10,195,843	20,717,437	67,824	—	20,785,262
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,099	3,555	117,654	20,539	△138,194	—
計	10,635,693	10,199,398	20,835,092	88,364	△138,194	20,785,262
セグメント利益	1,791,900	214,051	2,005,951	26,132	—	2,032,084
セグメント資産	7,111,726	4,333,603	11,445,330	582,272	6,405,679	18,433,282
その他の項目						
減価償却費	196,955	31,169	228,125	26,504	54,052	308,682
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	150,039	5,885	155,925	3,818	5,210	164,954

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 「調整額」は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額6,405,679千円の主なものは、親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(2) 減価償却費の調整額54,052千円は、管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加の調整額5,210千円は、主に本社設備の入れ替えによる設備投資であります。

4 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(関連情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	調整額	連結財務諸表 計上額
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計			
減損損失	77,693	—	77,693	—	—	77,693

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	調整額	連結財務諸表 計上額
	ソリューション ビジネス	S I ビジネス	計			
当期償却額	43,878	—	43,878	—	—	43,878
当期末残高	—	—	—	—	—	—

(注) ソリューションビジネスにおいて、のれんの減損損失73,131千円を計上しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	785.79円	865.03円
1株当たり当期純利益	82.84円	100.37円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	82.76円	100.28円

(注) 1 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,172,735	1,423,358
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,172,735	1,423,358
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,157	14,180
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	12	12
(うち新株予約権(千株))	(12)	(12)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,157,589	12,318,825
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	26,645	39,431
(うち新株予約権(千円))	(17,134)	(16,475)
(うち非支配株主持分(千円))	(9,511)	(22,956)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,130,944	12,279,394
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	14,165	14,195

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,701,801	2,656,653
受取手形	64,002	27,819
売掛金	4,020,147	3,844,237
完成工事未収入金	476,338	558,848
商品及び製品	56,426	63,624
仕掛品	175,854	53,653
原材料及び貯蔵品	14,764	77,890
前払費用	234,303	201,041
その他	252,283	37,614
流動資産合計	6,995,922	7,521,383
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,493,375	1,416,087
構築物	8,797	8,042
機械及び装置	210,809	182,182
車両運搬具	31,229	19,629
工具、器具及び備品	69,014	55,966
土地	3,427,250	3,427,250
有形固定資産合計	5,240,477	5,109,159
無形固定資産		
ソフトウェア	56,885	38,225
電気供給施設利用権	5,822	5,176
電話加入権	5,189	5,189
無形固定資産合計	67,897	48,591
投資その他の資産		
投資有価証券	67,866	81,251
関係会社株式	1,546,793	1,539,193
出資金	165,112	165,112
関係会社出資金	37,618	37,618
差入保証金	185,470	212,162
施設利用権	119,500	119,500
リース投資資産	—	31,084
繰延税金資産	456,149	475,567
その他	146,560	159,349
投資その他の資産合計	2,725,071	2,820,841
固定資産合計	8,033,446	7,978,592
資産合計	15,029,369	15,499,976

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,225,180	1,226,808
短期借入金	725,400	669,000
1年内返済予定の長期借入金	303,790	280,092
未払費用	270,655	289,513
未払法人税等	457,664	301,710
未払消費税等	233,206	223,134
前受金	107,793	159,035
賞与引当金	692,363	632,444
受注損失引当金	315	—
その他	150,259	263,760
流動負債合計	4,166,630	4,045,499
固定負債		
長期借入金	390,200	193,442
関係会社長期借入金	310,000	310,000
リース債務	173,016	31,084
役員退職慰労引当金	181,500	181,500
退職給付引当金	20,268	16,920
関係会社事業損失引当金	41,569	6,238
資産除去債務	29,668	29,962
長期預り保証金	93,591	93,591
その他	44,953	41,773
固定負債合計	1,284,767	904,514
負債合計	5,451,397	4,950,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金		
資本準備金	152,412	152,412
その他資本剰余金	37,736	44,981
資本剰余金合計	190,148	197,394
利益剰余金		
利益準備金	84,505	84,505
固定資産圧縮積立金	18,966	17,894
別途積立金	3,460,000	3,460,000
繰越利益剰余金	6,078,793	6,999,646
利益剰余金合計	9,642,265	10,562,046
自己株式	△708,745	△677,381
株主資本合計	9,563,869	10,522,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,031	11,228
評価・換算差額等合計	△3,031	11,228
新株予約権	17,134	16,475
純資産合計	9,577,971	10,549,963
負債純資産合計	15,029,369	15,499,976

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	16,413,713	16,019,942
売上原価	12,500,103	12,087,525
売上総利益	3,913,609	3,932,417
販売費及び一般管理費	2,473,498	2,398,427
営業利益	1,440,110	1,533,989
営業外収益		
受取利息	70	42
受取配当金	71,496	71,907
受取賃貸料	172,049	171,230
関係会社事業損失引当金戻入益	—	35,331
その他	12,626	20,266
営業外収益合計	256,242	298,777
営業外費用		
支払利息	11,941	9,846
賃貸収入原価	81,407	74,696
その他	5,159	3,828
営業外費用合計	98,508	88,371
経常利益	1,597,844	1,744,396
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
関係会社株式売却益	—	120,848
受取保険金	729	—
特別利益合計	733	120,848
特別損失		
投資有価証券評価損	26,206	7,169
関係会社株式評価損	84,659	—
関係会社事業損失引当金繰入額	41,569	—
企業年金基金脱退損失	—	31,424
その他	11,193	0
特別損失合計	163,630	38,593
税引前当期純利益	1,434,948	1,826,650
法人税、住民税及び事業税	551,559	550,117
法人税等調整額	△74,014	△25,711
法人税等合計	477,545	524,406
当期純利益	957,403	1,302,244

(3)株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
			自己株式 処分差益			固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	440,200	152,412	6,473	158,885	84,505	20,264	3,460,000	5,402,590	8,967,360
当期変動額									
剰余金の配当								△282,498	△282,498
当期純利益								957,403	957,403
自己株式の取得									—
自己株式の処分			31,263	31,263					—
固定資産圧縮積立 金の取崩						△1,297		1,297	—
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	31,263	31,263	—	△1,297	—	676,202	674,905
当期末残高	440,200	152,412	37,736	190,148	84,505	18,966	3,460,000	6,078,793	9,642,265

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△753,379	8,813,066	8,222	8,222	17,134	8,838,422
当期変動額						
剰余金の配当		△282,498				△282,498
当期純利益		957,403				957,403
自己株式の取得	△15,454	△15,454				△15,454
自己株式の処分	60,089	91,352				91,352
固定資産圧縮積立 金の取崩		—				—
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)			△11,253	△11,253		△11,253
当期変動額合計	44,634	750,802	△11,253	△11,253	—	739,548
当期末残高	△708,745	9,563,869	△3,031	△3,031	17,134	9,577,971

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
			自己株式 処分差益			固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	440,200	152,412	37,736	190,148	84,505	18,966	3,460,000	6,078,793	9,642,265
当期変動額									
剰余金の配当								△382,463	△382,463
当期純利益								1,302,244	1,302,244
自己株式の取得									—
自己株式の処分			7,245	7,245					—
固定資産圧縮積立 金の取崩						△1,072		1,072	—
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	7,245	7,245	—	△1,072	—	920,853	919,780
当期末残高	440,200	152,412	44,981	197,394	84,505	17,894	3,460,000	6,999,646	10,562,046

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△708,745	9,563,869	△3,031	△3,031	17,134	9,577,971
当期変動額						
剰余金の配当		△382,463				△382,463
当期純利益		1,302,244				1,302,244
自己株式の取得	△23,986	△23,986				△23,986
自己株式の処分	55,350	62,596				62,596
固定資産圧縮積立 金の取崩		—				—
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)			14,260	14,260	△659	13,601
当期変動額合計	31,364	958,390	14,260	14,260	△659	971,991
当期末残高	△677,381	10,522,259	11,228	11,228	16,475	10,549,963

- (4) 個別財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。